



いないいないばあ

松谷 みよ子/文
瀬川 康男/絵
童心社

いないいないばあ、にゃあにゃがほらね、いないいないばあ。ページをめくるとねこやくまがいらないいないばあをします。赤ちゃんといっしょに、いないいないばあであそびましょう。



とってください

福知 伸夫/さく
福音館書店

かめさんがおさんぽしています。おさるさんにあいました。木の上のりんごを「とってください」。おさるさんがとってきて、かめさんは「ありがとう」といいました。「とってください」「ありがとう」のくり返し楽しい、木版画の絵本です。

がたんごとんがたんごとん



安西 水丸/さく
福音館書店

がたんごとん がたんごとん きしゃが走っています。「のせてくださーい」ミルクが乗ります。がたんごとん がたんごとん 「のせてくださーい」今度は赤いカップとスプーン。絵本は終点で終わっても、また最初から読みたいくなります。



お風呂でちゃぷちゃぷ

松谷 みよ子/文
いわさき ちひろ/え
童心社

あひるちゃん、どこいくの？いいとこ、いいとこ。タオルをもったあひるちゃんが向かったのはお風呂。ほくもせーたーぬいで、ズボンぬいで、シャツをぬいで、パンツもぬいで、はだかんぼになって、あひるとお風呂にはいります。男の子の絵がやさしく愛らしい絵本です。



ねんねんねこねこ

なかの ひでこ/さく・え
アリス館

ねんねんねこねこ ねんねんねこねこねんねはいやだ…「いとまきまき」のメロディーで歌える楽しい絵本。お昼寝がいやで外へ出かけたこねこはどうなっちゃうかな？お昼寝のときにぴったりです。

おたんじょうび



まつい のりこ/作・絵
偕成社

トラックがいちごをはこんでいきます。バスがキャンディーをはこんでいきます。どこへいくのかな？ はっきりした絵で、文字のない絵本です。読むたびに、ちがうお話が楽しめそうです。

もうおきるかな？



まつの まさこ/ぶん
やぶうち まさゆき/え
福音館書店

どうぶつのおやこがねむっています。「もうおきるかな？」「あー、おきた」繰り返しのリズムが心地よい絵本。写実的な絵ですが、動物が眠っている姿、起きた姿がかわいらしく描かれています。

だれかな？だれかな？



なかや みわ/さく
福音館書店

「だれかな？だれかな？」の呼びかけにページをめくるとねずみが「たたたた」とあらわれます。つぎはなにがあらわれるかな？あてっこあそびも楽しめる本です。

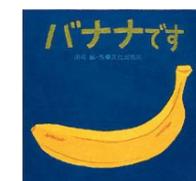
くつくつあるけ



林 明子/さく
福音館書店

この本に登場するのは、ちいさなくつですが、「ぱたぱたぱた」と歩いたり「とんとんとん」とつま先だったり「びよんびよん」とんだり、とても表情豊かです。

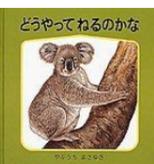
バナナです



川端 誠/作
文化出版局

みんながだいすきなバナナが、たくさん登場します。シンプルな絵でいろいろな色・すがたのバナナがあることがわかります。さいごはバナナの食べっこあそびで楽しみましょう。

どうやってねるのかな



やぶうちまさゆき/さく
福音館書店

「どうやってねるのかな？」の問いかけに動物たちがそれぞれの体にあった寝姿を見せてくれます。真似っこ遊びも楽しめます。親子で温かい気持ちになる本です。

ころころにゃーん



長 新太/さく
福音館書店

たまがころころころがってきました。何かと思ったら子猫でした。「ころころ」「にゃーん」の繰り返しておはなしは進んでいきます。シンプルでユーモラスな絵本、



赤ちゃんにはどんな本を選んだらよいですか？



「暖かく、ていねいに描かれていて、色調も明るく、心地よく、はっきりしている」ものがよいと言われています。『じゃあじゃあびりびり』のように、シンプルな絵で、身近なもの・音が出てくる本がよろこばれます。また、『とってください』のようにくり返しのことばが出てくるもの、『ぼんぼんポコポコ』のようなリズムカルな本も、赤ちゃんは大好きです。



まだ絵本に興味がないようで、読んでも聞いてくれません。



絵本を読むことによって、子どもとの楽しい時間を分かち合うのが読み聞かせです。ページをめくりたがったり、絵本をかじったりするのは興味がある証拠です。ゆったりした気分の時に読んでみましょう。抱っこの暖かさと愛情を感じながら本を開いてたくさんのお話を聴くことが赤ちゃんの心の栄養になります。





もこもこもこ

谷川 俊太郎／作
元永 定正／絵
文研出版

なにもなくてしーんとしているところに、もこっと
なにかがふくらんできました。もこもこ、もこもこ
と大きくなっていくと、あらら!? ことばのリズ
ムが楽しい絵本です。



ととけっこうよがあげた

こばやし えみこ／案
ましま せつこ／絵
こぐま社

「ととけっこう よがあげた まめでっぼう お
きてきな」。「ととけっこう」のわらべうたでよびか
けると、つぎつぎとどうぶつたちが起きてきまし
た。わらべうたをもとにしたシンプルなストーリ
ーを、絵で楽しく展開。わらべうた絵本です。

0歳からのおすすめ絵本

あかちゃんだって
本が好き!



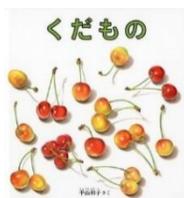
沼津市立図書館



かおかお どんなかお

柳原 良平／作・絵
こぐま社

かおにはめがふたつ。はなはひとつ。くちもひと
つ。いろんなかおが出てくるよ。読んでいるうち
に、つい百面相をしてしまいます。



くだもの

平山 和子／作
福音館書店

おおきなすいかを、スパッと切ってしゃくしゃく。
りんごはくしがたに切って、フォークに刺して。つ
やつやぶどうは、指でつまんでお口でチュッ。黄色
いバナナはじょうずにむけるかな? つやつやして
色あざやかなくだもの絵本です。いっしょに食べ
るまねっこ、楽しみましょう。



じゃあじゃあびりびり

まつい のりこ／作
偕成社

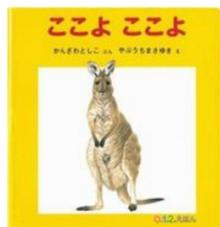
じどうしゃ、ぶーぶーぶー。いぬ、わんわんわん。
みず、じゃあじゃあじゃあ。そうじぎ、ぶいーんぶ
いーん。赤ちゃんの身の回りで聞こえる音の絵
本。シンプルなかたちと色使い、ことばのリズム
が楽しめます。



ごぶごぶ ごぼごぼ

駒形 克己／作
福音館書店

ぶくぶくぶくん ごぶごぶ ごぼごぼ じゃわじ
ゃわじゃわ… いろんな水の音。
難しいことはぬきにして、音と色の世界を楽しみま
しょう。穴からのぞいてみるのもいいかも。



ここよここよ

かんざわ としこ／文
やぶうち まさゆき／絵
福音館書店

「どこにいるの?」の呼びかけに、お母さんの陰に
隠れていた動物の赤ちゃんたちが顔をのぞかせま
す。繊細で緻密なタッチで描かれた動物の親子は、
みんな幸せそう。おひざだっこで読みたい絵本。



おつきさまこんばんは

林 明子／作
福音館書店

よぞらにぼっかり、おおきなおつきさまがあらわれ
ます。「おつきさま、こんばんは」とおじぎしたり、
「くもさん こないで」といやいやしたり。おつき
さまやくもとお話するように楽しめる絵本です。



ぴょーん

まつおか たつひで／作
ポプラ社

かえるが、ぴょーん。いぬが、ぴよよーん。ぱっ
たが、ぴょーん。にわとりとひよこが親子でぴょ
ーん。読みながらいっしょにぴょーんしたくなる
絵本です。



ぺろぺろぺろ

長 新太／作
BL出版

ぺろぺろぺろ、なめてるよ。ねこがぺろぺろぺろ、
いぬがぺろぺろぺろ。やまが、うみをぺろぺろ
ぺろ。おかあさんは、なにをぺろぺろぺろ、するの
かな?